

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島メタル&マシナリー 広製作所

(2) 事業所の所在地

広島県呉市広白岳1丁目2番43号

(3) 業種

製鋼・製鋼圧延業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

平成25年（2013）年度を基準年度とし、令和3年（2021）から令和8年（2029）年度までの5年間とする

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は、環境保全を経営の重要課題と位置付け、環境に配慮した事業活動に努め環境への負荷の低減を推進する事で、持続可能な社会づくりに貢献します。
特に、対策が急がれる地球温暖化防止については自からの事業活動のみならず地球環境に配慮し、温室効果ガス抑制に努めて参ります。

2. 方針

- 省エネルギー、省資源の推進
- 環境にやさしい製品の提供
- 廃棄物の排出抑制、リサイクルの推進
- 社員への省エネ意識の啓蒙活動

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 (25) 年度	令和 (2) 年度
二酸化炭素	108,653	36,897

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 (25) 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO2	108,653	5.0	5,433	103,220
非エネルギー起源CO2	0	#DIV/0!	0	0
メタン	0	#DIV/0!	0	0
一酸化二窒素	0	#DIV/0!	0	0
その他 温室効果ガス	0	#DIV/0!	0	0
温室効果ガス 実排出量総計	108,653	5.0	5,433	103,220
温室効果ガス みなし排出量		-		103,220
目標設定の考え方	エネルギー期限CO2は排出量を5年間5%の削減率 電力は中国電力の実排出係数を使用			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

製品出荷数量(t)製品出荷数量(t)

), 削減率 (%)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類 温室効果ガスの種類	基準年度 25年度 (平成 (2) 年度)			削減目標 削減率 (d)	目標年度 ()年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 数値 (c)		排出量 見込量 (e)	原単位 見込量 (f)	原単位 見込量 (g)
エネルギー起源CO2				0.0			
非エネルギー起源CO2				0.0			
メタン				0.0			
一酸化二窒素				0.0			
その他 温室効果ガス				0.0			
総排出量				0.0			
(原油換算 k 1) エネルギー 消費原単位	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方 目標設定 の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気使用量を5年5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・事業部の生産統合により①20 t, 15t, 10tの電気炉を②70 t 炉に集約し効率化させる ・LF操業・設備統合する、①を廃止し、設備効率向上、製鋼棟を有効利用
2			
3	電気使用量の削減	〃	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネタイプのエアコン機器の導入
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物排出量の削減		<ul style="list-style-type: none"> ・分別回収、資源化の徹底
2	リサイクル率の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・複合機の裏紙の利用、トナーやプリンターインク等リサイクル回収へ
3	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の利用 ・敷地周辺の清掃奉仕活動の実施 ・宅配便を個別収集からまとめて出荷に

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

毎月1回開催される、事業部業績報告会の技術部会の報告にて、エネルギー原単位の推移を報告する。

(2) 実施状況の点検・評価

省エネ委員会を立ち上げ、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、定期的に評価見直しを行い、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

省エネ委員会を通じて計画の連絡を行う